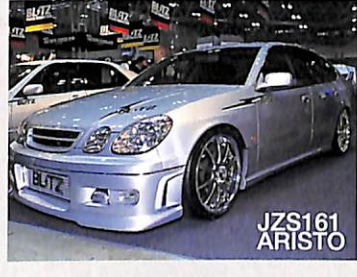




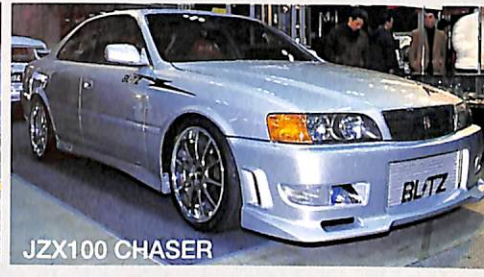
**BLITZ**

ブリッツ ☎:0424・89・0346

ターボチューンで有名なブリッツからは、今回スーパーセダン読者のための出展ともいえるようなモデルがめじろ押しだった。まずアルテッツァにはフロントスポイラーが装着され、もちろんボルトオンタービンキットも装備される。インジェクターやインタークーラーなど全て込みのフルキットでノーマル+100psのパワーを誇る。JZX100チェイサーは純正のタービンを交換、インタークーラー、オイルクーラーの両キットを組み合わせて、一歩進んだコストパフォーマンスに優れた仕様を目指している。JZS161にもオリジナルのフロントスポイラーがつけられニューターボK5-850Rを装着、さらなる限界へ挑戦する。ターボモデルファン必見のブリッツブースだった



JZS161 ARISTO



JZX100 CHASER



**MINE'S**

マインズ  
 ☎:0468・57・2708

スーパーセダン読者も一度はお目にかかったことがあるはずのマインズはコンピュータチューンメーカーだ。これまでランサーやインプレッサを紹介させてもらっている。オリジナルのロムを製作して販売している。今回のオートサロンで展示されていたセダンは、ランサーエボリューションVとJZS161アリスト。なかでもアリストのコンピュータロムキットは非常に売れ行きがいい。走り指向のアリストオーナーならではのこだわりが感じられる。当日は発表されたばかりのR34GT-Rも同時に展示された

**AZECT**

アゼクト  
 ☎:0584・32・0187

ホンダ車のエアロコンプリート&パーツで著名なアゼクト。今回はホンダ車のミニバンやRVが中心の出展となった。写真の彼女もS-MXの横に立っているように、Z、ステップワゴンなど残念ながらアコード、トルネオ、シビックフェリオ、さらに新しく発表されたセイバー、レジェンドなどのミディアムセダンは出展されなかった。アメリカンとヨーロッパのどちらともいえないホンダ車独特のスタイリングを知り尽くしたアゼクト。今後のニューモデルに期待がかかるのはいうまでもない



**Prova**

プローバ  
 ☎:045・591・5501

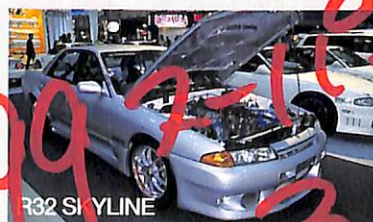
スバル系のチューニングメーカーであるプローバはフルエアロキットに身を包んだインプレッサを出展。グリル、前後スポイラー、サイドステップ、モール、リヤウイングとコンプリートで発表



**HKS KANSAI**

HKS 関西  
 ☎:0743・84・0126

ストリートでの全性能発揮を目指したチューンを施すHKS関西。アルテッツァにランエボと走り重視のモデルが魅力のユーザー思いのチューニングショップだ

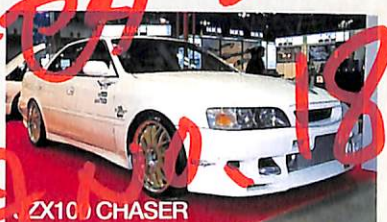


R32 SKYLINE

**RS YAMAMOTO**

RS 山本  
 ☎:048・477・7561

瞬発力のある4気筒SRエンジンに載せ換えたストリートドラッグ。足まわりはもちろんゼロヨン仕様のおいしいとこ取りのR32-4ドアスカイラインだ



JZX100 CHASER

**HKS TOKYO**

HKS 東京  
 ☎:03・5682・1100

スポーツミディアムセダンの製作では出ないものがないほど、力の入ったモデルを持つHKS東京。今回はJZX100チェイサーのエアロコンプリートモデルを展示



**SYMS**

インプレッサ、レガシイなどのスバル車チューンで有名なSYMS。今回はエキマニやサスペンションシステムなどのチューニングパーツを多数出展している



**ZERO SPORTS**

ゼロスポーツ  
 ☎:058・271・1321

ゼロスポーツのインプレッサはオリジナルエアロにエンジンタービンキットが着される。ベースはWRXじゃなく実はFFのモデル。でも4WDになっている



**TRIAL**

関西のチューニングメーカーで、全国区で活躍するトリアル。インプレッサはタービンキットを交換してオリジナルロムを装着。ストリート最速を狙う



**TOP SECRET**

今回、セダンのエントリーは見られなかったが、最高速を目標にチューニングを施したチェイサーは記憶に新しい。本年度も新たなセダンチューニングに期待したい

1997-10-18  
 3F  
 18